

秋田県障害者スポーツ指導者協議会

広報

チャレンジ!

平成21年3月1日発行
秋田県障害者スポーツ指導者協議会
〒010-0922
秋田市旭北栄町1番5号
(秋田県社会福祉会館内)
TEL・FAX 018-864-2750
E-mail: shidousha@akita-sports.jp



素晴らしい滑りをみせてくれました (2月12日~14日 野沢温泉スキー場)



広報「チャレンジ」助成事業について

秋田県障害者スポーツ指導者協議会 副会長 小森 一昭

会員並びに関係者の皆様に於かれましては、鋭意ご活躍されていることと思います。広報「チャレンジ」は、独立行政法人福祉医療機構の助成を受け行っている事業で、この度、「チャレンジ」3号を発行する運びとなりました。

初刊は、思考錯誤の中での発行となり、編集委員の皆様、特に佐藤事務局長には、大変ご苦勞を掛けましたこと心から感謝申し上げます。

会員並びに関係団体、関係者各位の皆様方に「チャレンジ」を愛読して頂き、障害者スポーツに対するご理解を頂いたものと思っております。

また、ご寄稿を頂きました皆様一人ひとりの、スポーツに懸ける思い願いが、各種大会や交流会に参加された皆さんの写真からは、競技に対する意気込みや緊張感、喜びや安堵感等がひしひしと伝わって来ます。反面、表舞台に出るまでの、長い辛い練習や、訓練の情景もが浮かびます。

助成事業としての広報「チャレンジ」は、今回の発行を以って終了します。

今後は、ホームページ上で、協会や会員の活動情報を公開して行く事になりますが、財政等の問題をクリアし、継続して発行して行きたいと思っております。

今回の、広報発行に対しご寄稿くださいました皆様、取材等にご協力頂きました皆様には心からお礼を申し上げます。

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

秋田県精神障害者スポーツ推進協議会 実状及び活動について



秋田県精神障害者スポーツ推進協議会

会長 清水 徹男

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より秋田県精神障害者スポーツ推進協議会の運営、活動に対し格別のご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、秋田県精神障害者スポーツ推進協議会は平成十七年六月に設立され、今年で四年目を迎えます。当初、全国障害者スポーツ大会の中で精神障害者バレーボール協議はオープン競技の位置づけであり、バックアップする団体も無かった為、精神障がいをお持ちの方が能力を発揮する機会も無く、基盤も不十分な状態でありました。その為、精神障がい者のスポーツ活動と社会参加の促進、また運動やレクリエーション活動の底辺拡大に向けて当協議会が設立され、様々な活動が実施される様になりました。

現在会員は約二三〇名(団体会員含む)おり、事業内容としては、広報誌の発行や精神障害者スポー

ツに関しての研修会や指導者研修会、ニュースポーツやバレーボール等の交流会を年間を通して実施し、精神障がい者の方々がスポーツを楽しむ機会を提供しています。十九年十月には「秋田わか杉大会・第七回全国障害者スポーツ大会(精神障害者バレーボール大会)」が行われ、秋田県より選手、役員四十名が出場。県内の関係機関や地域の高校生、精神保健福祉ボランティアの方々のご協力で盛大に行われ、選手はもちろん、たくさんの当事者や関係者、また地域住民が一つとなり、参加者全員に大きな希望と感動を与えてくれました。

当協議会は、このような選手強化を支援し、スポーツを通して精神障がい者が地域へ社会参加する事を促進する事で、地域でより豊かに自分らしく生活を送って頂く様、スポーツを通じての活動に取り組みんでいきたいと思っております。

中級スポーツ指導員養成講習会を受講して

秋田県障害者スポーツ指導者協議会

指導員養成講習会

会員 黒澤 英章

昨年の五月の下旬に、県障害者スポーツ協会から、一枚の葉書が届きました。それは、平成二十年度中級スポーツ指導員養成講習会開催の案内でした。会場は、秋田県心身障害者総合福祉センターで、前期が八月七日から十一日まで、後期が十二月十日から十四日までの合計十日間の講習会です。受講資格が、資格認定日が平成十八年八月六日以前の者(初級資格取得後二年以上経過している者)、前期・後期共に全日程出席できる者で、かつ指導経験が八十時間(十日程度)以上の者というなかなか厳しい内容でした。

受講者は、秋田県が十三名、埼玉県が三名、青森県・新潟県が各二名、長野県が一名の計二十一名で、全員が中級スポーツ指導員に認定されました。

初級(講習時数二十四時間)の時間とは異なり、中級(講習時数六十時間)は講習時数も三倍弱となり、日程も倍増し、講習科目も多く、より専門的な内容で、私などはついてゆくの四苦八苦でし

た。前期は夏の真つ盛り、午後の講義は睡魔と戦いながら、後期は冬の寒さをもとせずに、午前九時から午後六時半まで、講義や実技を受講生全員、良く頑張りました。受講生間の年齢差を全く感じさせない十日間でした。義足の事、有酸素運動と無酸素運動の事、各障害に関する各論、手足を縛った状態での水泳など、貴重な体験や講義を受けた事は、今後の指導に大いに役立つ事と思います。長さを感じさせない講習期間でした。

最後に、講習会開催から終了まで、多大なご尽力とお世話をして下さいました県障害者スポーツ協会の職員の方に、心底より感謝申し上げます。



第2回

実技研修会

車椅子バスケットボールに挑戦!!

平成二十年度・第二回実技研修会が十一月十六日(日)秋田県勤労身体障害者スポーツセンターにおいて約四十名の会員が参加し、車椅子バスケットボールを学び、体験した。

講師(秋田県車椅子バスケットボールクラブ、五十嵐憲男氏、田中健氏)の先生より、車椅子の操作や、車椅子バスケットボールについての基礎知識を学び、一九六〇年、第一回ローマで開催されたパラリンピックから、公式競技と



なっていて、現在では五十七の国や地域が、国際車椅子バスケットボール連盟(IWBF)に加盟されているとのこと。そのほかゲームのあらましや、特有のルールなど講義を受けた、その後、両講師のほか競技選手として、元パラリンピックに数回出場されご活躍されました、当協議会会員 松永武生氏、スポーツ協会 佐藤スポーツ推進員、宇佐美スポーツ推進員から実技の指導を受けた。

車椅子を操作しながら、競技を進行する難しさをあらためて実感した。最後は皆でゲームを行い、実際に競技の一部を体験することができた。指導者の皆様のご協力により、会員の笑の中に爽やかな汗で、無事実技研修を終了することができた。

サウンドテーブルテニス普及活動

平成二十年十一月二十三日(日)に、こもればの里(大仙市)にてボランティアの練習支援方法として、大仙地区サウンドテーブルテニス普及活動が行われた。

競技者参加数十四名、多人数で行う練習が中心となった。地元審判員や弱視をトレーナーとして養成することも目的とした。

今回の普及活動により、ボランティア支援者の組織化が必要だとの声があり、参加者には今後の活動への方向が見え、良い活動となったようだ。



厚生労働大臣杯争奪 第38回 全国身体障害者スキー大会

長野県 野沢温泉スキー場に集う



長野県の北部にある野沢温泉村野沢温泉スキー場にて、2月12日(木)から14日(土)まで、(財)日本障害者スポーツ協会・日本身体障害者スキー協会・(特)日本障害者スキー連盟の主催により厚生労働大臣杯争奪第38回全国身体障害者スキー大会が開催された。

大会には、下肢障害でチェアスキーを使用する選手や片足スキーでアウトリガーを使用する選手、視覚に障害があり前方のガイドの指示で滑るブラインドスキーの選手、知的障害の選手などが出場し、秋田県チームからは、進藤雄一選手（日本身体障害者スキー協会副会長・秋田県

身体障害者スキー協会会長）と佐藤孝志選手（秋田県身体障害者スキー協会会員）の2名が出場した。進藤選手は男子大回転チャレンジレースへエントリーし入賞は逃したものの安定した滑りをみせ、佐藤選手は男子大回転と男子回転のタイムレースへエントリーし、男子回転で健闘し3位へ入賞した。

斜面は新たな積雪がないためガリガリに固まり、コース周辺は時折濃い霧に包まれ、晴れるまでその場で待機するなど、条件的には決して良いとは言えない中でのレースだったが、両選手ともに最後まで集中し、素晴らしい滑りをみせ、今大会を終了した。

閉会式・表彰式終了後には、他県の選手らとお互いの健闘をたたえ合いまた来年この大会で会うことを約束し合うなど、競い合うだけでなく交流もふまえた大会となったようだった。

今回出場した進藤さんが会長を務める県身体障害者スキー協会では、障害の有無や老若男女を問わず会員を募集している。スキー経験のない初心者の方も歓迎しているので、興味がある方は是非下記の連絡先までお問い合わせ下さい。





平成20年度 生涯スポーツ功労者表彰受賞

秋田県障害者スポーツ指導者協議会

会長 米山 隆氏

平成20年10月7日、当協議会会長 米山隆氏は、長年にわたる生涯スポーツの振興に寄与されたご功績が認められ、このたび、平成20年度生涯スポーツ功労者として文部科学大臣表彰を受賞されました。

この度の受賞は、ご本人はもとより、秋田県障害者スポーツ界においても、障害者スポーツに関わる方たちにとっても大変名誉なことであり、また当協議会といたしましても、会員一同の、大きな喜びであります。

今後も当協議会の大きな礎となっただき、ご指導ご尽力を賜りたくおもっております。今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

行事報告

第5回 障害者スポーツ指導者全国研修会

平成21年2月28日(土)～3月1日(日)に北海道民活動センターに於いて、全国から156名の参加者(秋田県5名)が集い、開催されました。

平成20年度障害者スポーツ指導者競技会及び 第7回 障害者スポーツセミナー

平成21年3月3日(火)東京都都市センターに於いて開催されました。(1名参加)

今後の 行事予定

東北ブロック障害者スポーツ協会・ 指導者協議会連絡協議会

日時 平成21年3月14日(土) 場所 仙台市K Kホテル仙台

会費未納の会員様へ



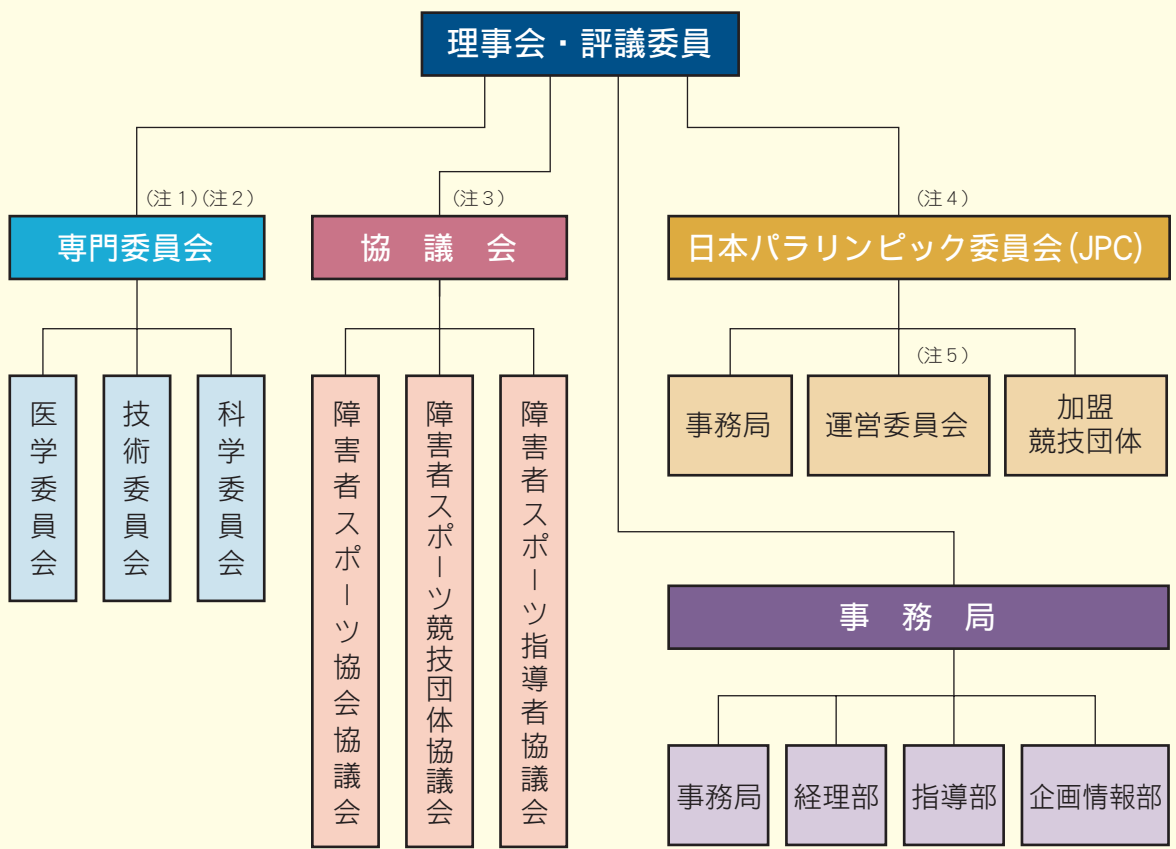
当協議会の会費を未納の会員は、年度内に納入下さいますようお願いいたします。すでに会費を納入されました会員の皆様には、お礼申し上げます。



Q. 日本障害者スポーツ協会・日本障害者スポーツ指導者協議会と秋田県障害者スポーツ指導者協議会との関係について教えてください。

A. 中央との関係については組織図のとおりとなります。

財団法人 日本障害者スポーツ協会組織図



- (注1) 日本障害者スポーツ協会の事業を遂行するため必要があるときは専門委員会を設ける。
- (注2) 専門委員会の委員は会長が委嘱する。
- (注3) 日本障害者スポーツ協会に協議会を置く。(平成21年4月1日より)
- (注4) 日本障害者スポーツ協会にJPCを置く。
- (注5) 運営委員会には、JPC加盟競技団体、学識経験者、競技経験者等から委員が選ばれる。

二十年度は、社会福祉医療機構「高齢者・障害者福祉基金」の助成を受けることができ、情報発信事業としてこの度、三号を発行することができました。

一年間、広報に携わってくださいました方々、寄稿を快く引き受けて下さいました皆様、また、広報取材にご協力頂きました皆様には心よりお礼を申し上げます。

編集後記

ホームページ

当協議会のホームページが運用されております。会員の皆様の活動報告や、情報提供がございましたら事務局または、E-mailにてお知らせください。

秋田県障害者スポーツ指導者協議会
<http://www.akita-sports.jp/shidou>